かんたん設置ガイド

JUSTIO 複合機

FAX-7860DW

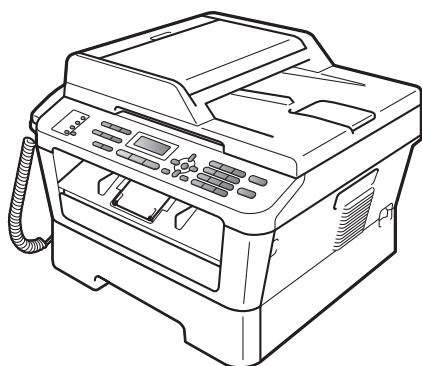
brother

はじめにお読みください

本製品を使用するには、本製品を設置し、お使いのコンピューターにドライバーとソフトウェアをインストールする必要があります。正しいセットアップを行うために、この「かんたん設置ガイド」を必ずお読みください。

ユーザーズガイドCD-ROM

付属のユーザーズガイドCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。あわせてご覧ください。

・ユーザーズガイド　応用編
・ユーザーズガイド　パソコン活用編
・ユーザーズガイド　ネットワーク操作編
・ユーザーズガイド　ネットワーク知識編

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編 4 章「困ったときには」で調べる

2

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話からでも簡単にサポート情報を見ることができます。
http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル オンラインユーザー登録をお勧めします。
https://myportal.brother.co.jp/
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

接続・設置する

コンピューターに接続する

USB接続

Windows®
Macintosh

有線LAN接続

Windows®
Macintosh

無線LAN接続

Windows®
Macintosh

付　録

Version 0 JPN

ユーザーズガイドの構成

準備しましょう

- 電源の注意事項を知りたい
- 停電のときの注意事項を知りたい
- 安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい
- 設置場所の注意事項を知りたい
- トナーの注意事項を知りたい

- 設置して使用できる状態にしたい
- 必要な設定をしたい
- コンピューターに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい
- 簡単にネットワークに接続して、複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい

まずは使ってみましょう

- 電話を使いたい
- リサイクルについて知りたい
- 消耗品を交換したい
- 使用できる用紙が知りたい
- コンピューターからプリントしたい（基本）
- お手入れのやりかたを知りたい
- ファクスしたい（基本）
- トラブルを解決したい
- コピーしたい（基本）
- スキャンしたい（基本）

もっと便利に使ってみましょう

- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい
- ファクスを転送したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
- 電話帳を作成したい
- いろいろなファクス送受信をしたい

- コンピューターからプリントしたい（応用）
- コンピューター上にアドレス帳を作成したい
- さまざまな設定をコンピューターから行いたい（リモートセットアップ）
- コンピューターでファクスを送受信したい
- いろいろな方法でスキャンしたい

- ネットワークに接続して複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい
- ネットワーク設定を手動で行いたい
- ネットワークにかかわるトラブルを解決したい

知りたいことをコンピューターですばやく探しましょう

- 基本から応用までまとめて探したい
- いろいろなファクス送受信をしたい
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい
- 音量を設定したい
- 電話帳を作成したい
- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- ファクスを転送したい
- 送信履歴などレポートを表示、印刷したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
- 文字の入力方法を知りたい

知りたい用語を調べましょう

- 分からない用語を調べたい

安全にお使いいただくために

冊子

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずお読みください。また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。

かんたん設置ガイド　<本書>

冊子

本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法、ネットワーク環境設定など）を説明しています。はじめにお読みください。

ユーザーズガイド　基本編

冊子

基本的な電話、コピー、ファクス、プリント、スキャンの使い方やトラブル対処方法について説明しています。いつでも手にとって見られる場所に保管してください。

ユーザーズガイド　応用編

CD-ROM

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

ユーザーズガイド　パソコン活用編

CD-ROM

コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使い方（ControlCenter）について説明しています。

ユーザーズガイド　ネットワーク操作編

CD-ROM

ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。

画面で見るマニュアル（HTML形式）

ユーザーズガイド基本編、応用編、パソコン活用編、ネットワーク操作編の他に、全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。
マニュアルの検索機能を使用して、知りたいことをすばやく探すことができます。

ユーザーズガイド　ネットワーク知識編

CD-ROM

本製品のネットワークの特長に関する基礎的な情報を記載しています。

●冊子は本製品に同梱されています。
●画面で見るマニュアル（HTML形式）と各取扱説明書のPDFは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

目　次

- ■この機器は、クラスB情報技術装置です。この機器は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- ■本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口」までご連絡ください。
- ■お客様または第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ■本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- ■本製品の設置上の警告・注意事項は、「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しく設置してください。
- ■ 電話帳に登録した内容、メモリに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください（⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」、「メモリに受信したファクスを印刷する」）。本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本製品のメモリに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ■付属品などを紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（0120-118-825）へご注文ください。（土、日、祝日、長期休暇を除く　9:00～12:00　13:00～17:00）

最新のドライバーや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。
最新のドライバーやファームウェアを弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。
ドライバーを新しくすることで、新しいOSに対応したり、トラブルを解決できることがあります。また、本体にトラブルがあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

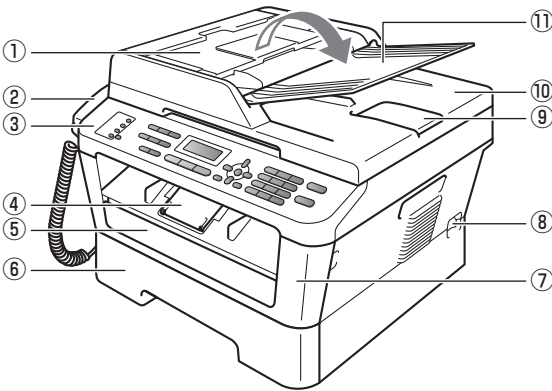
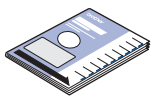
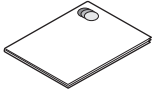
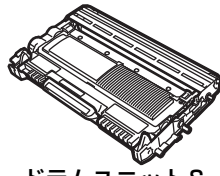
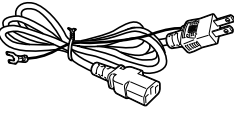
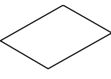
補足
ダウンロード・操作手順の詳細については、http://solutions.brother.co.jp/へ。

消耗品の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました消耗品の回収にご協力をお願いいたします。詳しくはホームページを参照してください。

回収対象となる消耗品
　・トナーカートリッジ　・ドラムユニット

http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー　回収

本書の表記

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。(XXXはページ、参照先)
「XXX」	ユーザーズガイド 基本編の参照先を記載しています。(XXXはタイトル)
「XXX」	ユーザーズガイド 応用編の参照先を記載しています。(XXXはタイトル)
「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を記載しています。(XXXはタイトル)
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク操作編の参照先を記載しています。(XXXはタイトル)
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。(XXXはボタン名)
「XXX」	コンピューターの画面や液晶ディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。(XXXは項目名や入力文字)

付属品を確認する

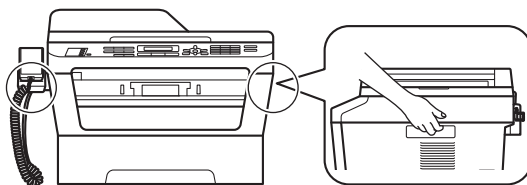
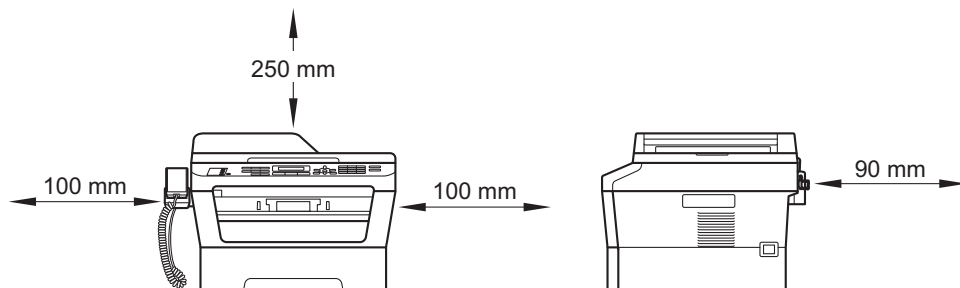
万一、足りないものがあったりユーザーズガイドに落丁があったときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

※工場出荷時にあらかじめ取り付けられています。

⚠警告

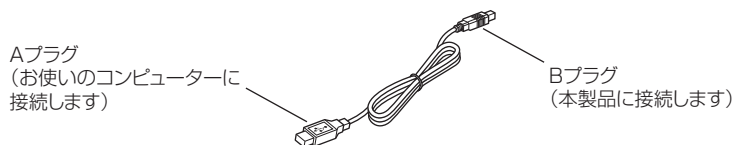
本製品を梱包していたビニール袋などは、子供の手が届かないところに保管してください。
誤ってかぶると窒息の恐れがあります。

⚠注意

• 本製品を持ち運ぶときは、図のように本製品の受話器台と取っ手を持ってください。本製品の底面を持たないでください。

• 本製品を設置するときは、下記のスペースを確保してください。

注意

■本製品を引越などで移動させるときには、移動中の本製品の破損を防ぐため購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド基本編「本製品を再梱包するときは」を参照してください。

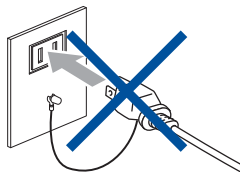
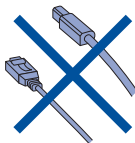
■本製品とコンピューターをつなぐケーブルは同梱されていません。利用するケーブルをお買い求めください。

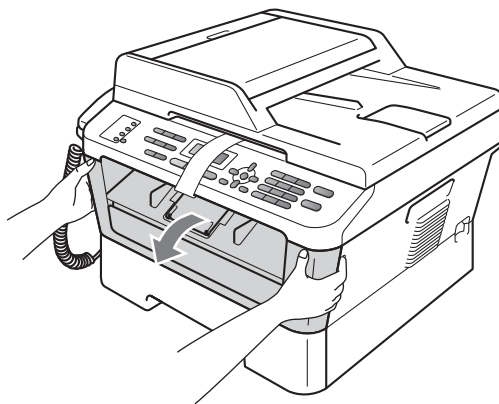
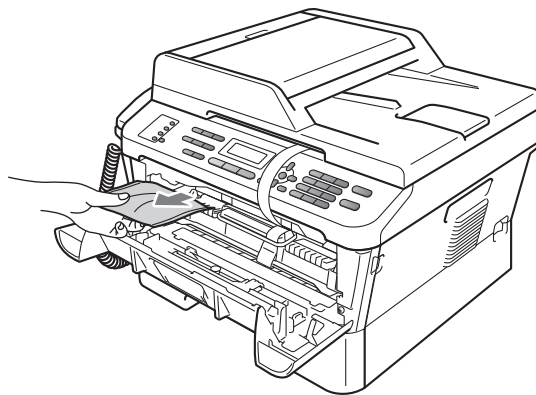
• USBケーブル
  2.0m以下のUSBケーブルを推奨します。

• LANケーブル
  カテゴリー５（100BASE-TX用）以上のストレートケーブルをお使いください。

梱包材を取り外す

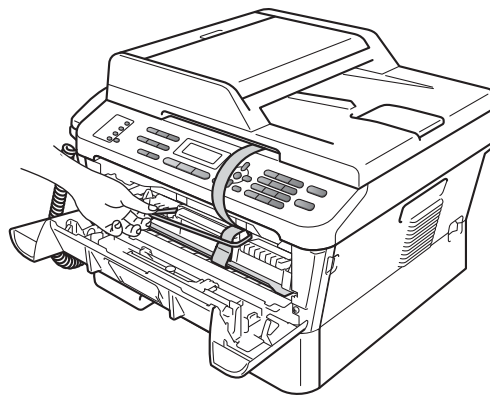
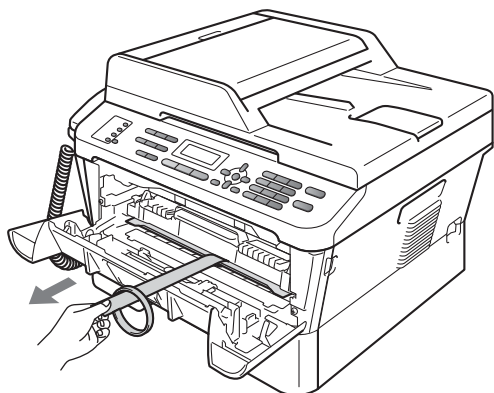
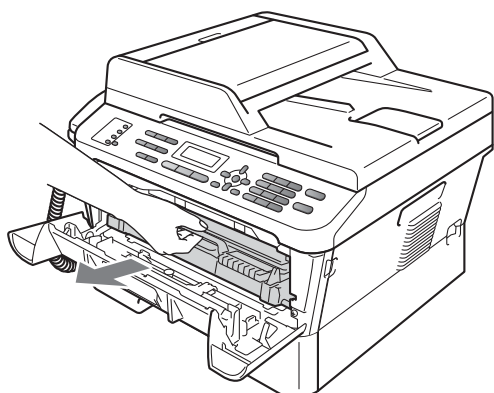
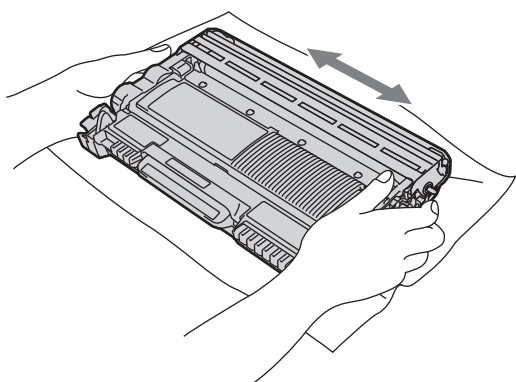
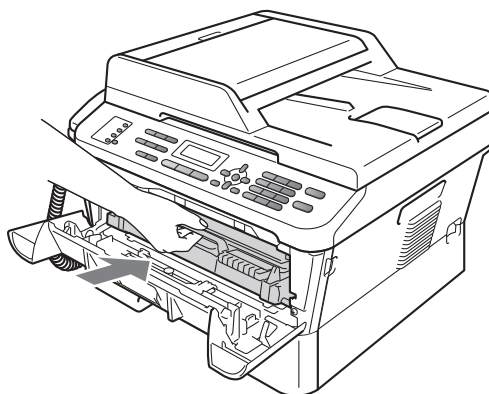
箱から本製品を取り出した後、本体内部にセットされている保護部品および梱包材を取り除きます。
箱や取り外した部品は廃棄せずに保管してください。

注意

■この時点ではまだ電源コードを接続しないでください。

■USBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。

1 本製品に貼られている青色のテープと原稿台ガラスに貼られているフィルムをはがす

2 フロントカバーを開く

3 乾燥剤を取り出す

注意

取り出した乾燥剤は、廃棄してください。

4 ドラムユニット＆トナーカートリッジから輪ゴムを取り外す

5　紙を引いて、保護部材を取り外す

6　ドラムユニット＆トナーカートリッジを取り出す

7　トナーがカートリッジ内で均一に分散するように、左右にゆっくりと５、６回振る

8　ドラムユニット＆トナーカートリッジを本製品に戻す

9　フロントカバーを閉じる

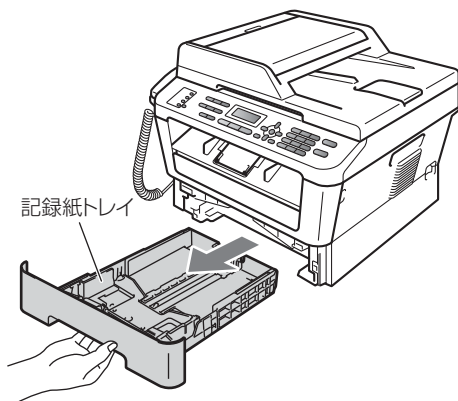
受話器を取り付ける

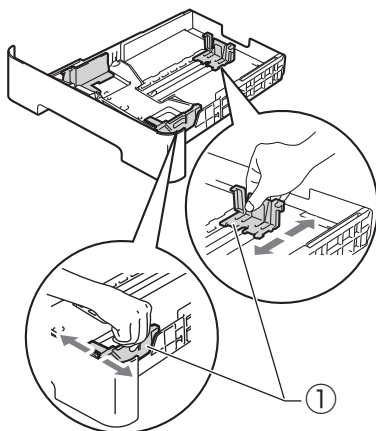
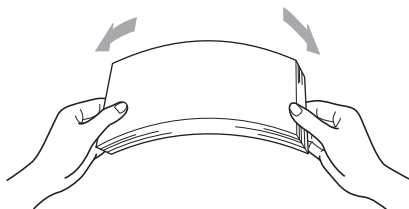
受話器を取り付け、本製品に接続します。

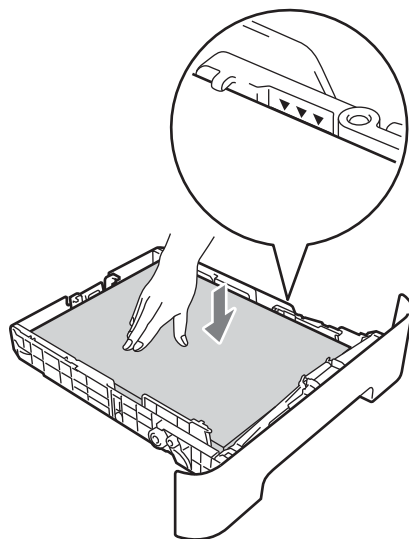
1　受話器コードを受話器の端子に差し込み、もう一方を本製品の「（受話器マーク）」端子に接続する

受話器を受話器台に置いてください。

記録紙をセットする

1　記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

2　記録紙ガイドを使用する記録紙のサイズに合わせる

• レバー①をつまみながら使用する記録紙のサイズに合わせます。
• 記録紙ガイドのつめがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

3　記録紙をよくさばく

4　印刷面を下にして記録紙トレイに入れる

記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。

注意

■記録紙に折り目やしわがないか確認し、数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

■記録紙トレイの内部にラベルなどを貼らないでください。紙づまりや給紙ミスの原因になります。

補足

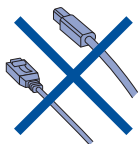
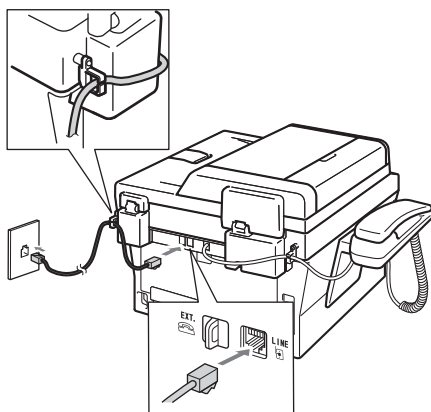
●はがきは記録紙トレイに30枚までセットできます。
●A4（80g/m^{2}の普通紙）で約250枚までセットできます。

5　記録紙トレイを本製品に戻す

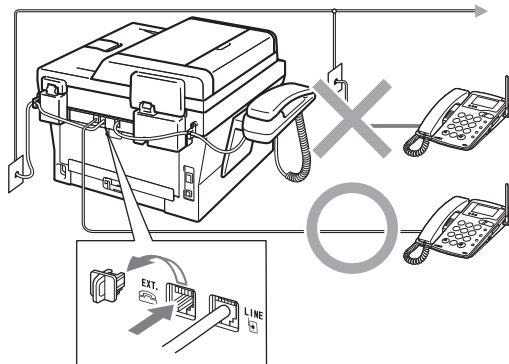
6　排紙ストッパーを開く

電話機コードを接続する

注意

この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。

1 **電話機コードの一方を背面の「LINE」端子に差し込み、もう一方を壁側の電話機コンセントに差し込む**

注意

電話機コードは「EXT.」端子ではなく、必ず「LINE」端子に接続してください。

- お使いの電話機を本製品と接続してご使用になる場合は、本製品背面の外付け電話端子（EXT.）に付いているキャップを外して接続します。

- 本製品に接続した電話機を外付け電話機と呼んでいます。

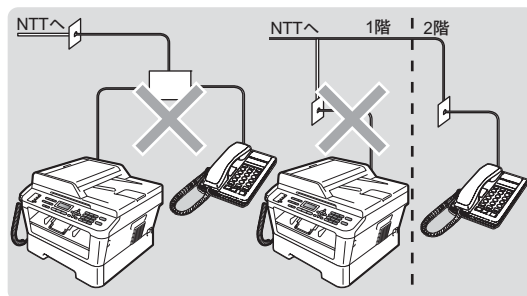
注意

■外付け電話端子に接続できる電話機は、1台だけです。

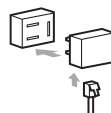
■ファクス付き電話は接続できません。

■ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を外付け電話機として接続する場合は、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「外付け電話優先」にしてください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ナンバー・ディスプレイ設定」を参照してください。

■ブランチ接続（並列接続）はしないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- 並列電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンなどのサービスが正常に動作しません。

補足

●付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2芯の電話機コードをお使いください。6極4芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

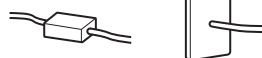
●3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

●直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

接続・設置する

コンピューターに接続する

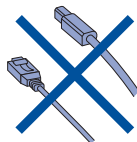
USB
Windows®
Macintosh

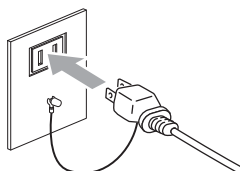
有線LAN
Windows®
Macintosh

無線LAN
Windows®
Macintosh

付録

電源コードを接続する

注意

この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。

1 電源コードを本製品に接続する

2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 電源スイッチをONにする

- 回線種別の自動設定が始まります。
- 自動設定が終わると、設定された回線種別が２秒間液晶ディスプレイに表示されます。

警告

- 感電や火災防止のため、電源コード（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。
- 感電防止のため必ず保護接地を行ってください。電源コンセントの保護接地端子にアース線を確実に接続してください。

注意

■液晶ディスプレイに「電話機コード両端の接続をご確認ください。または、ご利用の回線業者へお問い合わせください。」のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていない可能性があります。電話機コードを正しく接続してください。詳しくは、⇒13ページ「電話機コードを接続する」を参照してください。また、電話回線上の他の機器が正しく接続されていない可能性があります。他の機器の接続や電源の状態を確認してください。
それでも改善しない場合は、「受話器を上げたときのツー音（ダイヤルトーン）が聞こえません」とご利用の電話会社へお問い合わせください。
電話機コードを接続しない場合は、<停止/終了>、または<2>を押して液晶ディスプレイの指示に従って接続を中止してください。

■構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。自動で回線種別の設定ができなかったときは、手動で回線種別を設定してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド応用編「手動で回線種別を設定する」を参照してください。

■ダイヤル回線10PPSを使用しているときは、必ず手動で回線種別を設定してください。

補足

本製品を、電話回線に接続せずに使用する（コピー、プリンター、スキャナーなどとして使用する）ときは、手動で回線種別を設定します。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「手動で回線種別を設定する」を参照してください。どの回線種別を設定しても構いません。

日付と時刻をセットする（時計セット）

発信元登録を登録すると、ファクス送信したときに、ここでセットした日付と時刻が相手側の記録紙に印刷されます。日付と時刻はファクスモード中の液晶ディスプレイに表示されます。

1 <メニュー>→<0>→<2>を押す

2 以下の手順で日付と時刻を設定する

1. 年号（西暦の下2桁）を入力→<OK>
例：2011年の場合は「11」

```
時計ｾｯﾄ
年:2011
```

2. 月（2桁）を入力→<OK>
例：8月の場合は「08」

```
時計ｾｯﾄ
月:08
```

3. 日付（2桁）を入力→<OK>
例：21日の場合は「21」

```
時計ｾｯﾄ
日付:21
```

4. 時刻（24時間制）を入力→<OK>
例：午後3時25分の場合は「1525」

```
時計ｾｯﾄ
時刻:15:25
```

3 <停止/終了>を押す

補足

入力を間違えたときは、<◀>または<▶>を使って修正する文字にカーソルを移動し、正しい文字を入力し直してください。

名前とファクス番号を登録する（発信元登録）

ファクス送信したときに、ここでセットした名前とファクス番号が相手側の記録紙に印刷されます。

1 <メニュー>→<0>→<3>を押す

2 以下の手順で発信元を登録する

1. ファクス番号を入力→<OK>

```
発信元登録
ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX
```

2. 電話番号を入力→<OK>

```
発信元登録
電話:03XXXXXXXX
```

3. 名前を入力→<OK>

```
発信元登録
名前:ﾌﾞﾗｻﾞｰ ﾀﾛｳ
```

補足

- ファクス番号と電話番号は、20 桁まで登録できます。カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。
- 名前は20文字まで登録できます。
- 入力を間違えたときは、<◀>または<▶>を使って修正する文字にカーソルを移動し、<クリア>を押して削除後、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。
- 電話とファクスを同一回線（1 番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号が同じ番号になりますのでファクス番号を入力してください。

3 <停止/終了>を押す

補足

- コンピューターからリモートセットアップ機能を使用しても名前やファクス番号を登録することができます。詳しくは⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」を参照してください。
- 最初から入力をやり直したいときは、<停止/終了>を押して、手順1からやり直してください。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。入力できる文字の種類は設定項目によって異なります。

ボタン	入力できる文字
ア 1	アイウエオァィゥェォ1
カ 2 ABC	カキクケコABC2
サ 3 DEF	サシスセソDEF3
タ 4 GHI	タチツテトッGHI4
ナ 5 JKL	ナニヌネノJKL5
ハ 6 MNO	ハヒフヘホMNO6
マ 7 PQRS	マミムメモPQRS7
ヤ 8 TUV	ヤユヨャュョTUV8
ラ 9 WXYZ	ラリルレロWXYZ9
ワ 0	ワヲンー（ハイフン）0
゛゜ *	゛゜
記号 #	. @ - _ '（スペース）: ; < = > ? [ ] ^ ! " # $ % & ( ) * + , / €

文字の入力方法

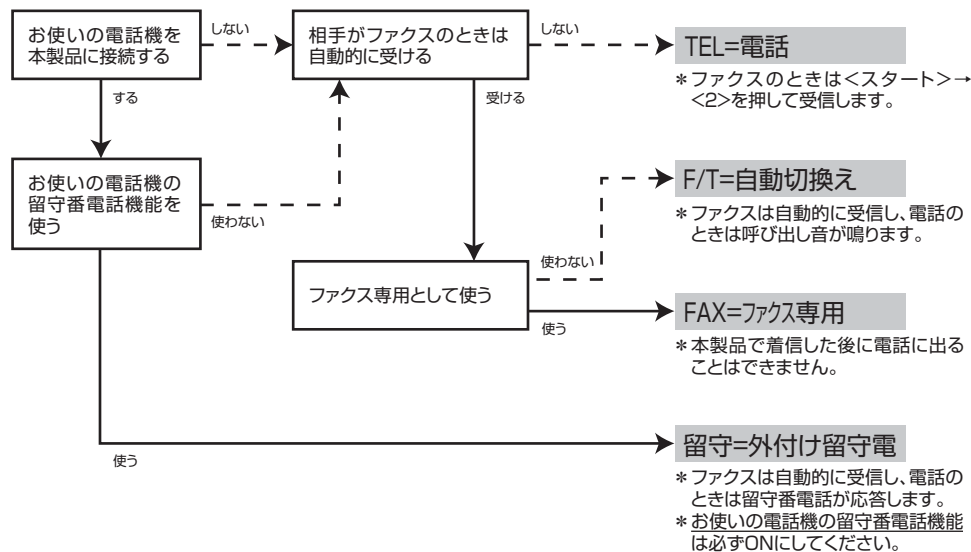
電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	1 ～ 0 、* 、# を押す
文字を削除する	クリア を押す ・カーソルが文字列の最後の後方にあるときは、カーソルの左の1文字を削除する ・カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除する
文字を挿入する	◀ を押してカーソルを戻し、文字を入力する
スペース（空白）を入れる	▶ を押してカーソルを右に移動させる （文字のときは ▶（2回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	記号ボタン（#）を押して、入力したい記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶ を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	OK を押す

補足

文字の入力の詳細については、⇒「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

受信モードを選ぶ

本製品の使用目的に応じて受信モードを設定します。設定する受信モードは以下の図を見て選んでください。

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 基本編「受信モードの種類」を参照してください。

1 <メニュー>→<0>→<1>を押す

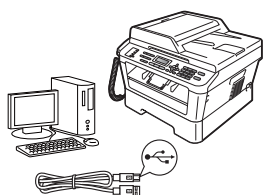
2 <▲>または<▼>で受信モードを選択する

「FAX=ファクス専用」、「F/T=自動切換え」、「留守=外付け留守電」、「TEL=電話」の中から選択します。

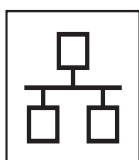
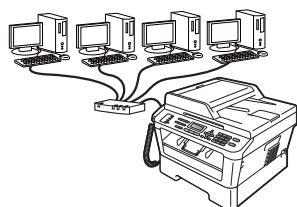
3 <OK>を押す

4 <停止/終了>を押す

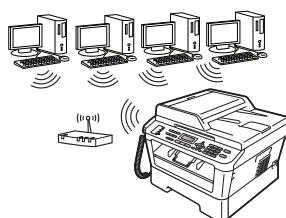
コンピューターに接続する

本製品をコンピューターと接続してプリンターやスキャナーとして使用する場合は、ドライバーや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。まず接続方法を選択してください。

USBケーブルで接続する場合

コンピューターに直接本製品をつなぎます。

Windows®の場合 ⇒20ページ
Macintoshの場合 ⇒22ページ

LANケーブルで接続する場合

ルーター・ハブなどに本製品を有線でつなぎます。

Windows®の場合 ⇒24ページ
Macintoshの場合 ⇒26ページ

無線LANで接続する場合

無線LANアクセスポイントに本製品を無線でつなぎます。

⇒28ページ

本書は、次のOSでの接続方法について説明しています。
Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®、Windows® 7、
Mac OS X 10.4.11～10.6.x

補足

- Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008/2008 R2でお使いの方は、⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
- 最新ドライバーがサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）
ただし、サポートサイト上のドライバーに付属のソフトウェアは含まれません。付属のソフトウェアはドライバー＆ソフトウェアCD-ROMからインストールしてください。CD-ROMドライブ搭載（外付け可）のコンピューターをお持ちでない場合は、付属のソフトウェアをご利用いただけません。

USB接続

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows®の場合）

USBケーブルを使って接続する場合のインストール方法を説明します。
インストールをする前に、「STEP1　接続・設置する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

注意

画面は、使用しているOSにより異なります。

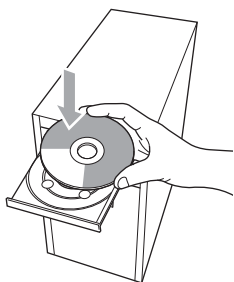
1 コンピューターの電源を入れる

アドミニストレーター（Administrator）権限でログオンします。

2 本製品の電源スイッチをOFFにする

3 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

「トップメニュー」画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

4 「トップメニュー」画面で［インストール］をクリックし、「インストール」画面で［インストール］をクリックする

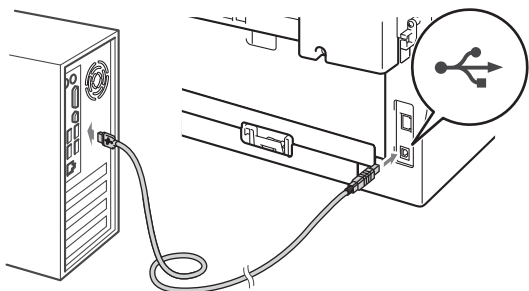
使用許諾契約などの画面が表示されたときは、［はい］を押して進んでください。

補足

- ドライバーとソフトウェアのインストールが始まらない場合は、手順3からインストールをやり直してください。
- Windows Vista®/Windows® 7で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］、または［はい］を選択してください。

5 表示される画面に従って操作すると、ケーブル接続画面が表示される

6 本製品とコンピューターをUSBケーブルで接続する

- コンピューターに USB ケーブルを接続します。
- 本製品にUSBケーブルを接続します。

7 本製品の電源スイッチを ON にして、表示される画面に従いセットアップを行う

補足

- 自動的にインストールが再開されます。その間、ウィンドーが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。
- Windows Vista®/Windows® 7で「Windows セキュリティ」画面が表示されたときは、チェックボックスをクリックし、［インストール］をクリックしてください。
- しばらく待ってもインストールが再開されない場合は、コンピューターと本製品のUSBケーブルを接続し直してください。それでもインストールが再開されない場合は、［キャンセル］をクリックしてケーブル接続画面を閉じ、修復インストールを行ってください。
- ソフトウェアのインストール中にエラーメッセージが表示された場合は、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［FAX－7860DW］を選択し、［インストール診断ツール］をクリックします。
  後の操作は画面の指示に従ってください。

OK! **インストールが完了しました。**

補足

- インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。
- **「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内**
  XML Paper Specificationプリンタードライバーは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適した Windows Vista®、Windows® 7 専用のプリンタードライバーです。
  サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
  （http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintoshの場合）

USBケーブルを使って接続する場合のインストール方法を説明します。
インストールをする前に、「STEP1　接続・設置する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

注意

Mac OS X 10.4.0 ～ 10.4.10 をお使いの方は、Mac OS X 10.4.11～10.6.xにアップグレードしてください。

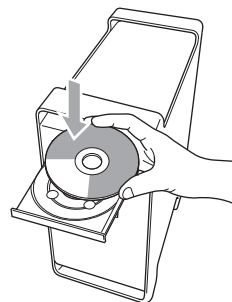
1 Macintoshの電源を入れる

2 本製品とMacintoshをUSBケーブルで接続する

注意

USBケーブルは、キーボードのUSBポートや電源供給なしのUSBハブ経由で接続しないでください。本製品とMacintoshをUSBケーブルで直接接続してください。

3 本製品の電源スイッチをONにする

4 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

5 ［Start Here OSX］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

6 下記の画面が表示されたら本製品を選び［OK］をクリックする

7 確認画面が表示されたら［次へ］をクリックする

OK! **インストールが完了しました。**
続いて Presto！ PageManager をインストールします。手順 8 に進んでください。

8 「サービスとサポート」画面で［Presto！PageManager］をクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Presto！ PageManagerがインストールされます。
Presto！ PageManagerをインストールしない場合は、［閉じる］をクリックして終了します。

Presto！ PageManager をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作をすることができます。

OK! **インストールが完了しました。**

有線LAN接続

セキュリティソフトウェアをお使いの場合の注意事項

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを一時停止にしてください。

注意

ドライバーのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

補足

ウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows®の場合）

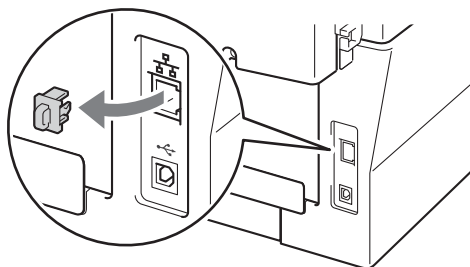
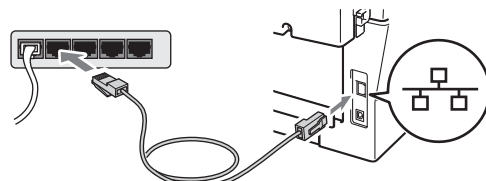
有線LANで接続する場合のインストール方法を説明します。インストールをする前に、「STEP1　接続・設置する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

注意

画面は、使用しているOSにより異なります。

1 コンピューターの電源を入れる

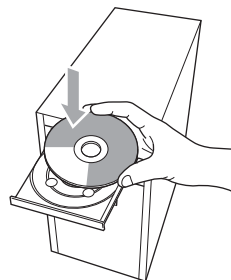
アドミニストレーター（Administrator）権限でログオンします。

2 LANポートに付いているカバーを外す

3 本製品とルーター、またはブロードバンドルーターをLANケーブルで接続する

4 本製品の電源スイッチをONにする

5 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

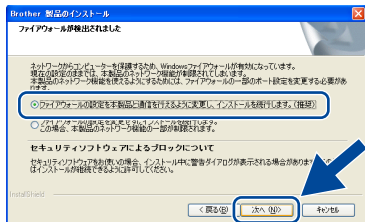
「トップメニュー」画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

6 「トップメニュー」画面で［インストール］をクリックし、「インストール」画面で［インストール］をクリックする

使用許諾契約などの画面が表示されたときは、［はい］を押して進んでください。

補足

- ドライバーとソフトウェアのインストールが始まらない場合は、手順5からインストールをやり直してください。
- Windows Vista®/Windows® 7で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］、または［はい］を選択してください。
- 「ファイアウォール検出」画面が表示された場合は、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。
  - Windows® 2000は除く

Windows® ファイアウォールを使用していない場合は、以下のネットワークポートを追加してください。追加方法については、お使いのファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。

- ネットワークスキャン：UDPポート 54925
- ネットワークPCファクス受信：UDPポート 54926

これらを追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDPポート 137

7 画面に従いセットアップを行う

補足

- ネットワーク上に本製品が見つからない場合は、表示される画面の指示に従って設定を確認してください。
- IP アドレス、MAC アドレスを調べるときは「ネットワーク設定リスト」を印刷してください。詳しくは、⇒46ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」を参照してください。
- Windows Vista®/Windows® 7で「Windows セキュリティ」画面が表示されたときは、チェックボックスをクリックし、［インストール］をクリックしてください。
- ソフトウェアのインストール中にエラーメッセージが表示された場合は、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［FAX－7860DW LAN］を選択し、［インストール診断ツール］をクリックします。
  後の操作は画面の指示に従ってください。

OK! **インストールが完了しました。**

補足

- 特定の IP アドレスを使用する場合は、操作パネルを使用して本製品のIP取得方法を「Static」に設定してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「IP取得方法」を参照してください。
- インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。
- **「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内**
  XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適した Windows Vista®、Windows® 7 専用のプリンタードライバーです。
  サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
  （http://solutions.brother.co.jp/）

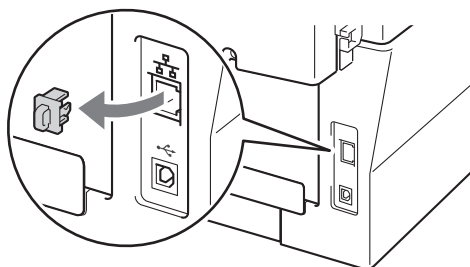
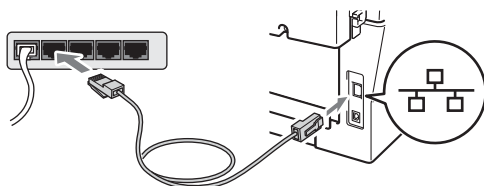
ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintoshの場合）

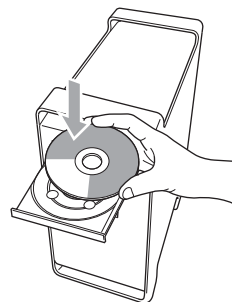
有線LANで接続する場合のインストール方法を説明します。インストールをする前に、「STEP1　接続・設置する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

注意

Mac OS X 10.4.0 ～ 10.4.10 をお使いの方は、Mac OS X 10.4.11～10.6.xにアップグレードしてください。

1　Macintoshの電源を入れる

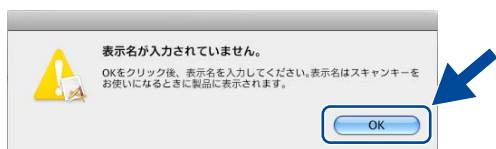
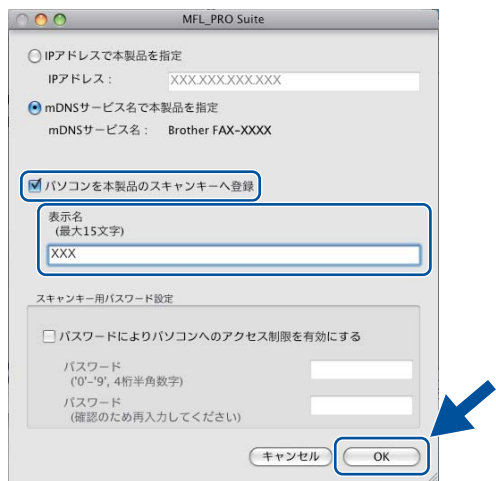
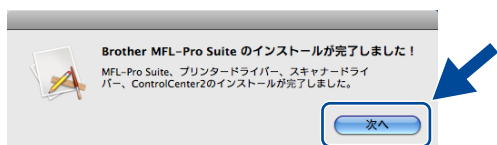
2　LANポートに付いているカバーを外す

3　本製品とルーター、またはブロードバンドルーターをLANケーブルで接続する

4　本製品の電源スイッチをONにする

5　付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

6　［Start Here OSX］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

7　下記の画面が表示されたら本製品を選び［OK］をクリックする

補足

- ネットワーク上に本製品が見つからない場合は、ネットワーク設定を確認してください。
- 同じモデル名が 2 つ以上ある場合は、モデル名の右に表示されるMACアドレス（イーサネットアドレス）をもとに本製品を選択します。
- IP アドレス、MAC アドレスを調べるときは「ネットワーク設定リスト」を印刷してください。詳しくは、⇒46ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」を参照してください。
- 以下の画面が表示されたときは［OK］をクリックして表示名を入力してください。

- 「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。
  表示名は半角15文字以内で入力し、［OK］をクリックします。
  <スキャン>を押したときと、スキャナー機能のオプションを選択したときに入力した内容が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」を参照してください。

8 確認画面で［次へ］をクリックする

OK! **インストールが完了しました。**
続いて Presto！ PageManager をインストールします。手順 9 に進んでください。

9 「サービスとサポート」画面で［Presto！PageManager］をクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Presto！ PageManagerがインストールされます。
Presto！ PageManagerをインストールしない場合は、［閉じる］をクリックして終了します。

補足

Presto！ PageManager をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作をすることができます。

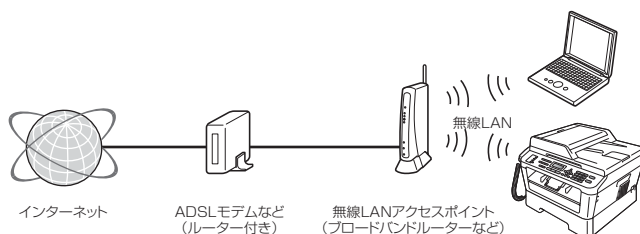
インストールが完了しました。

補足

特定のIPアドレスを使用する場合は、操作パネルを使用して本製品のIP取得方法を「Static」に設定してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「IP取得方法」を参照してください。

無線LAN接続

必要な機器と無線LAN環境を確認する

本製品は、無線LANアクセスポイントを経由する無線LAN（インフラストラクチャモード）環境に接続できます。以下の環境が整っていることを確認してください。
対応OSなど、必要な環境については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

補足

本書では、インフラストラクチャモードの無線 LAN 環境の場合の接続方法について説明しています。アドホックモード（無線LANアクセスポイントを経由せずに使うモード）で無線LANをお使いの場合は、⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

無線LAN環境で使用する場合の注意点

●設置に関する注意

- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線LANアクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

●通信に関する注意

環境によっては、有線LAN接続やUSB接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

注意

■アクセスポイントの接続、設定については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

■本製品では、有線LANと無線LANを同時に使用できません。

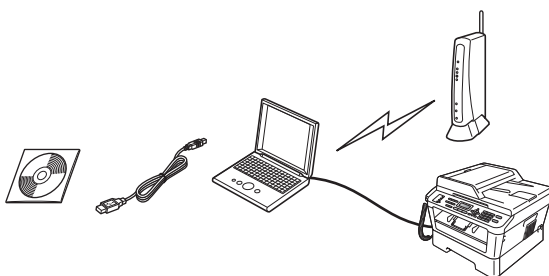
■ADSLモデム、またはひかり電話対応機器（ルーター機能付）の環境に無線LANルーターなどを追加接続している場合は、追加のルーターのDHCP機能などをOFFにしてください。詳しくは、お使いのルーターの取扱説明書をご覧ください。

コンピューター	アクセスポイントに無線LANで接続されており、ネットワークに接続できる状態になっていることを確認します。
無線LANアクセスポイント（無線LANルーターなど）	IEEE802.11b/gに対応した製品が必要です。

無線LANの設定について

無線LANの設定方法は、3つあります。環境を確認して設定をしてください。
付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMとUSBケーブルを使って無線LANの自動設定をする方法（❶）をおすすめします。

❶ 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMとUSBケーブルを使って自動設定をする（Windows®）

注意

■無線LANの接続をするため、一時的にUSBケーブルを使う必要があります。（USBケーブルは本製品に同梱されていないため、必要に応じお買い求めください）

■ご使用のOSがWindows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008/2008 R2の場合やコンピューターと無線LANアクセスポイントを有線LANで接続している場合は、自動設定ができません。
無線の設定をするためSSIDとネットワークキーを調べ下記、太枠内に記入してください。SSIDおよびネットワークキーがわからないままでは、無線LANの設定は行えません。必ず調べてください。

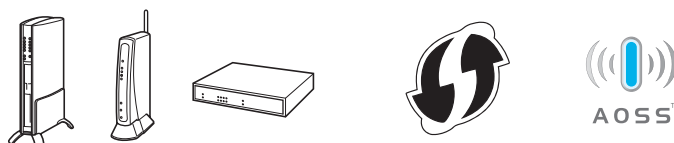
SSID※1 （ネットワーク名）	
ネットワークキー※2 （セキュリティキー／暗号化キー）	

※１： 無線ネットワークの名前。ESSID、ESS-IDとも呼ばれています。
※２： WEPキーや事前共有キーとも呼ばれています。

■SSIDとネットワークキーは本製品からは調べることができません。お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

USBケーブルをお持ちの方は、⇒32ページ「一時的にUSBケーブルを使って無線LANを自動設定する（Windows®の場合）」へ進み、本製品の設定を行います。
お持ちでない方は、操作❷に進みます。

❷ WPS、またはAOSS™機能を使って自動設定する（Windows®/Macintosh）

お使いの無線LANアクセスポイントに、以下のロゴマークが付いている場合、本製品と無線LANアクセスポイント（無線LANルーターなど）の接続・設定をかんたんに行うことができます。

補足

お使いの無線LANアクセスポイントがWPS、またはAOSS™に対応しているかどうかわからない場合は、お使いの無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

WPSまたはAOSS™に対応している場合は、⇒35ページ「無線LANの自動設定をする」へ進み、本製品で設定を行います。
対応していない場合は、操作❸に進みます。

❸ SSIDとネットワークキーを本製品の操作パネルから入力して手動設定する（Windows®/Macintosh）

無線の設定をするためSSIDとネットワークキーを調べ下記、太枠内に記入してください。
SSIDおよびネットワークキーがわからないままでは、手動設定は行えません。必ず調べてください。

SSID※1（ネットワーク名）	
ネットワークキー※2（セキュリティキー／暗号化キー）	

※１：無線ネットワークの名前。ESSID、ESS-IDとも呼ばれています。
※２：WEPキーや事前共有キーとも呼ばれています。

注意

SSIDとネットワークキーは本製品からは調べることができません。お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

SSIDとネットワークキーを確認し、その情報を書き留めたら、⇒36ページ「SSIDとネットワークキーを手動入力して設定する」へ進み、本製品で設定を行います。

無線LANセキュリティ情報（SSIDとネットワークキー）の調べかた

- 初期設定のSSIDは、無線LANアクセスポイントにシールで貼られていたり、無線LANアクセスポイントのメーカー名や型番である可能性があります。取扱説明書の記載と照合してください。
- セキュリティ情報の調べかたは、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書に記載があります。よくお読みください。
- 上記の方法でセキュリティ情報がわからない場合は、無線LANアクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

セキュリティソフトウェアをお使いの場合の注意事項

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを一時停止にしてください。

注意

ドライバーのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

補足

ウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

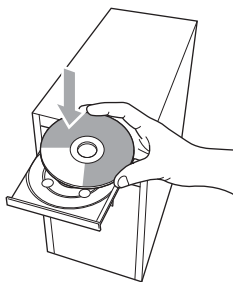
一時的にUSBケーブルを使って無線LANを自動設定する（Windows®の場合）

注意

無線LANの接続をするため、一時的にUSBケーブルを使う必要があります。（USB ケーブルは本製品に同梱されていないため、必要に応じお買い求めください）

1 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

「トップメニュー」画面が表示されます。

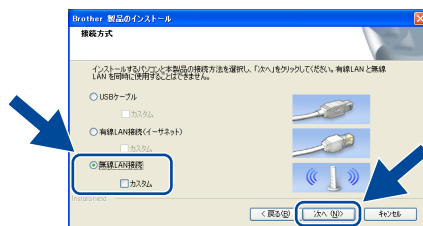
補足

画面が表示されないときは［マイコンピュータ］から CD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 「トップメニュー」画面で、［インストール］をクリックし、「インストール」画面で［インストール］をクリックする

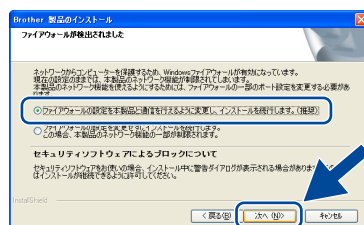
使用許諾契約などの画面が表示されたときは、［はい］を押して進んでください。

補足

Windows Vista®/Windows® 7 で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］または［はい］を選択してください。

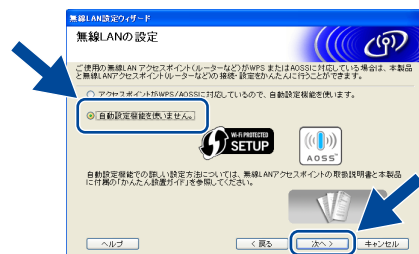
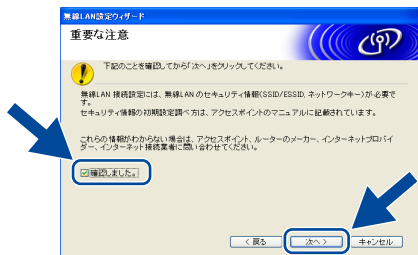
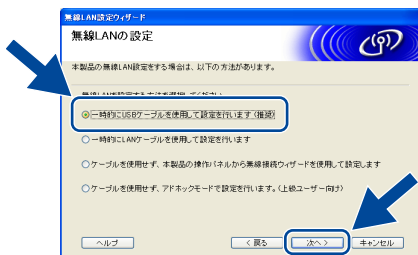
3 ［無線LAN接続］を選択し、［次へ］をクリックする

補足

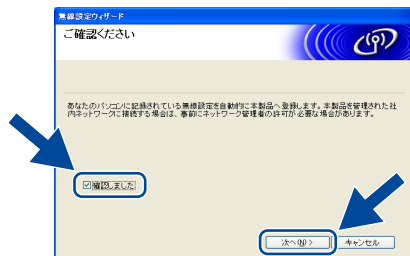
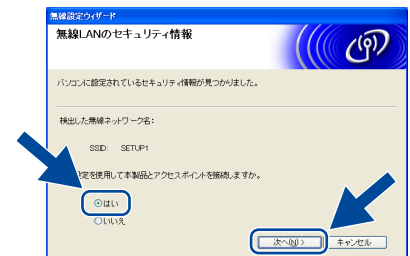
「ファイアウォール検出」画面が表示された場合は、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

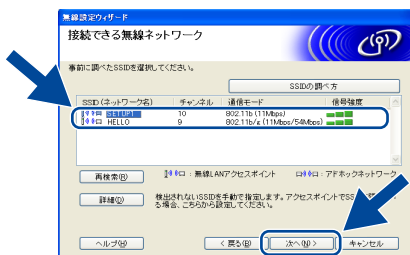
- Windows® 2000は除く

Windows® ファイアウォールを使用していない場合は、以下のネットワークポートを追加してください。追加方法については、お使いのファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。

- ネットワークスキャン：UDPポート 54925
- ネットワークPCファクス受信：UDPポート 54926

これらを追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDPポート 137

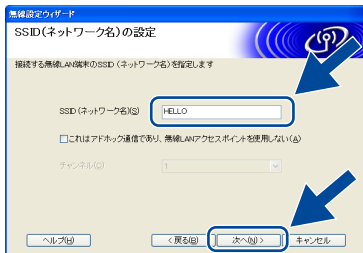
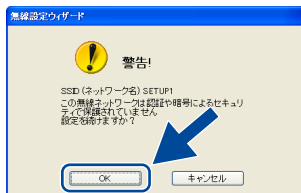
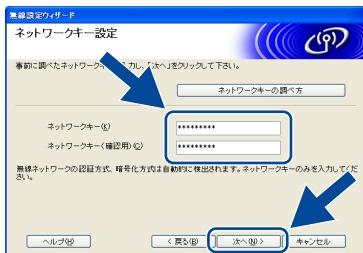
4 ［自動設定機能を使いません。］を選択し、［次へ］をクリックする

5 「重要な注意」を読み、セキュリティ情報（SSID/ESSID、ネットワークキー）を確認後、[確認しました。] のチェックボックスにチェックを入れ、[次へ] をクリックする

6 [一時的に USB ケーブルを使用して設定を行います（推奨)] を選択し、[次へ] をクリックする

7 一時的に本製品とコンピューターをUSBケーブルで接続する

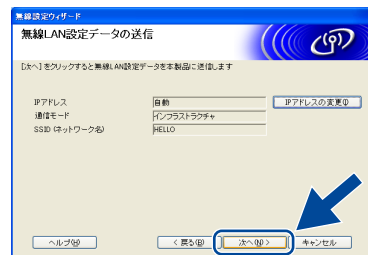
8 確認画面が表示された場合は、チェックボックスにチェックを入れ [次へ] をクリックする

次の画面で、接続するSSIDが表示された場合、[はい] を選択し、[次へ] をクリックする

手順11へ進んでください。

9 接続可能な無線LANアクセスポイントが表示されるので、確認したSSIDを選択し、[次へ] をクリックする

注意

設定を開始するには、29 ページで記入した無線LANアクセスポイントのSSIDとネットワークキーが必要です。

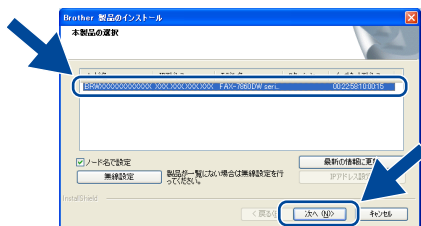
補足

- リストに何も表示されない場合、以下を確認して本製品と無線LANアクセスポイントを近づけて［再検索］をクリックしてください。
  - 無線LANアクセスポイントの電源が入っている
  - SSIDが送信されている
- 無線LANアクセスポイントがSSIDを送信しない場合、［詳細］をクリックし手動で設定することができます。SSID（ネットワーク名）を入力して［次へ］をクリックしてください。

- 認証および暗号化の設定がされていない場合、以下の画面が表示されます。［OK］をクリックし、手順11へ進んでください。

10 ネットワークキー、ネットワークキー（確認用）を入力し、［次へ］をクリックする

11 ［次へ］をクリックする

設定内容が本製品に送られます。

補足

- ［キャンセル］をクリックした場合、それまでの設定は保存されません。
- 本製品の IP アドレスを手動で入力する場合、［IP アドレスの変更］をクリックしIPアドレスを入力してください。
- 接続失敗画面が表示されたら［再設定］をクリックし、手順9から再度行ってください。

12 本製品とコンピューターのUSBケーブルを抜く

13 画面に従って操作すると、下記の画面が表示されるので本製品を選び[次へ]をクリックする

補足

●暗号化方式がWEPの場合で、本製品が見つからないときは、WEPキーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字 / 小文字を正確に入力してください。

●ネットワーク上に本製品が見つからない場合は、表示される画面の指示に従って設定を確認してください。それでも検索されない場合は、［無線設定］をクリックして表示される画面の指示に従って無線LAN接続を設定し直してください。

●Windows Vista®/Windows® 7で「Windows セキュリティ」画面が表示されたときは、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

14 画面に従いセットアップを行う

OK! **無線LANの設定とインストールが完了しました。**

液晶ディスプレイの右側に無線LANの電波状態を示すインジケーターが表示されます。

補足

●特定の IP アドレスを使用する場合は、操作パネルを使用して本製品のIP取得方法を「Static」に設定してください。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「IP取得方法」を参照してください。

●インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。

●**「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内**
XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適した Windows Vista®、Windows® 7 専用のプリンタードライバーです。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）

無線LANの自動設定をする

無線LANアクセスポイント（ルーターなど）がWPS、またはAOSS™に対応しているか確認してください。

補足

PIN方式で設定したい場合は、⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

1 本製品と無線LANアクセスポイントを近づける

本製品と無線LANアクセスポイントを近づける距離は、メーカーの取扱説明書を参照してください。

2 <メニュー>→<6>→<2>→<3>を押す

3 「無線LAN有効？」が表示されたら<1>を押す

セットアップが開始されます。

補足

中止したい場合は、<停止/終了>を押してください。

4 「アクセスポイントの WPS/AOSS ボタンを押してください。 操作ができたらOKボタンを押してください。」が表示されたら、無線 LAN アクセスポイントの WPS または、AOSS™ボタンを数秒間押す

無線LANアクセスポイントのボタンについては、メーカーの取扱説明書を参照してください。

5 <OK>を押す

6 無線LAN接続結果を液晶ディスプレイと無線LANレポートで確認する

無線LANレポートが、自動で印刷されます。接続に失敗した場合、⇒38ページ「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

OK! **無線LANの設定が完了しました。**
液晶ディスプレイの右側に無線LANの電波状態を示すインジケーターが表示されます。

ドライバーとソフトウェアのインストールについて

Windows®をお使いの方は、42ページ

Macintoshをお使いの方は、44ページ

SSIDとネットワークキーを手動入力して設定する

設定を開始するには、30ページで記入した無線LANアクセスポイントのSSIDとネットワークキーが必要です。

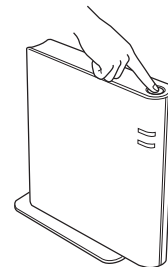
1 <メニュー>→<6>→<2>→<2>を押す

2 「無線LAN有効？」が表示されたら<1>を押す

セットアップが開始され、SSIDが検索されます。

補足
中止したい場合は、<停止/終了>を押してください。

3 SSIDのリストが液晶ディスプレイに表示されたら、<▲>または<▼>で30ページで記入したSSIDを選択し<OK>を押す

- ネットワークキーが必要な認証および暗号化方式の場合は、手順4へ進んでください。
- 認証方式がオープンシステム認証で暗号化なしの場合は、手順6へ進んでください。
- 無線LANアクセスポイントがWPSに対応している場合
  「このアクセスポイントはWPSに対応しています。 自動接続しますか？」が表示されたら、<1>を押してください。（<2>を選択した場合、手順4へ進み、ネットワークキーを入力します。）
  「アクセスポイントのWPSボタンを押してください。 操作ができたら次へ進んでください。」と表示されたら、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押し、<1>を押します。手順6へ進んでください。

- 無線LANアクセスポイントがSSIDを送信しない場合、手動で設定することができます。⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

補足

SSIDのリストに何も表示されない場合、以下を確認し手順1からやり直してください。

- 本製品と無線LANアクセスポイントを近づける
- 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認する

4 操作パネルのダイヤルボタンを使用して、30 ページで記入したネットワークキーを入力し<OK>を押す

- 入力した文字を消すときは、＜クリア＞を押します。
  アルファベット（小文字・大文字）、または数字を入力する場合は、ダイヤルボタンの<1>～<9>を押します。記号を入力する場合は、<#>を押します。ダイヤルボタンを押すごとに、液晶ディスプレイに表示される文字が切り替わります。
- 入力できる文字については、⇒41ページ「無線設定時の文字入力について」を参照してください。

5 「設定を適用しますか？」が表示されたら＜1＞を押す

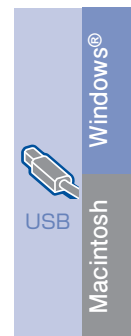
6 無線LAN接続結果を液晶ディスプレイと無線LANレポートで確認する

無線 LAN レポートが、自動で印刷されます。
接続に失敗した場合、⇒38ページ「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

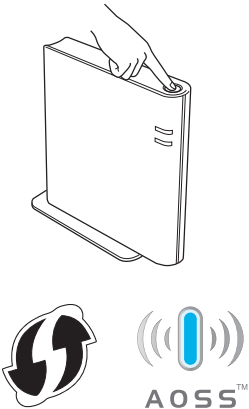
OK! **無線 LAN の設定が完了しました。**
液晶ディスプレイの右側に無線LANの電波状態を示すインジケーターが表示されます。

ドライバーとソフトウェアのインストールについて

Windows®をお使いの方は、42ページ

Macintoshをお使いの方は、44ページ

困ったときは（トラブル対処方法）

無線LANレポートに「Connection：Failed」が印刷されている場合、エラーコードを確認して下記の対処を行ってください。

エラーコード	意味	解決方法
TS-01	無線LAN設定が有効になっていません。	● **本製品にLANケーブルが接続されていますか？** 本製品からLANケーブルを抜いてください。 ● **無線LANの設定をオンにしていますか？** 無線LAN設定をオンにしてください。 1. <メニュー >→<6>→<2>→<2>を押す 2.「無線LAN有効?」が表示されたら<1>を押す
TS-02	無線LANアクセスポイントがみつかりませんでした。	● **無線LANアクセスポイントの電源は入っていますか?** 電源を入れてください。 ● **無線LANアクセスポイントが正常に動作していますか?** 無線LANを内蔵したコンピューターでインターネットに接続できるかお試しください。 接続できない場合は、無線LANアクセスポイントが正常に動作していない可能性があります。 ● **無線 LAN アクセスポイントと本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか?** 本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、できるだけ無線LANアクセスポイントに近づけてください。 また、セットアップ時は1m以内に近づけてお試しください。 ● **近くに無線LANに影響を及ぼすものはありませんか?** 本製品の近くに、他の無線 LAN アクセスポイントやコンピューター、Bluetooth® 対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。 ● **アクセス制限を設定していませんか?** 無線LANアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング機能を使用している場合は、本製品のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録して、通信を許可してください。 ● **無線LANのセキュリティ情報（SSID、認証方式、暗号化方式、ネットワークキー）の設定は正しいですか?** 手動で設定した場合、間違って入力されているかもしれません。正しい無線LANのセキュリティ情報を確認して、設定し直してください。 ⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>意味</th><th>解決方法</th></tr>
<tr><td>TS-04</td><td>無線LANアクセスポイントで使用されている認証方式、暗号化方式が、本製品でサポートしておりません。</td><td>無線LANアクセスポイントの認証方式と暗号化方式を変更してください。インフラストラクチャモードの無線LAN環境の場合、本製品がサポートする無線LANアクセスポイントの認証方式、暗号化方式は以下のとおりです。
<table>
<tr><th>認証方式</th><th>暗号化方式</th></tr>
<tr><td rowspan="2">WPA-PSK</td><td>TKIP</td></tr>
<tr><td>AES</td></tr>
<tr><td>WPA2-PSK</td><td>AES</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オープンシステム認証</td><td>WEP</td></tr>
<tr><td>なし</td></tr>
<tr><td>共有キー認証</td><td>WEP</td></tr>
</table>
サポートされている認証方式、暗号化方法に変更しても解決しないときは、無線LANのセキュリティ情報が正しく設定されていません。正しい情報を確認して、設定し直してください。
⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

アドホックモード（無線LANアクセスポイントを経由せずに使うモード）の無線LANをお使いの場合は、コンピューターの無線LANの認証方式と暗号化方式を変更してください。
認証方式はオープンシステム認証、暗号化方式はoptional WEPのみサポートしています。
詳しくは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。
（http://solutions.brother.co.jp/）</td></tr>
<tr><td>TS-05</td><td>SSIDとネットワークキーの設定が間違っています。</td><td>● 無線LANのセキュリティ情報（SSID、ネットワークキー）の設定は正しいですか?
ネットワークキーの、大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、ネットワークキーが間違っていないか確認してください。
※ 無線LANアクセスポイントに複数のWEPキー（WEPキー 1、WEPキー 2、WEPキー 3、WEPキー 4など）を設定している場合、本製品では1番目のWEPキーのみ使用できます。</td></tr>
<tr><td>TS-06</td><td>無線LANのセキュリティ情報（認証方式、暗号化方式、ネットワークキー）の設定が間違っています。</td><td>● 無線LANのセキュリティ情報（認証方式、暗号化方式、ネットワークキー）の設定は正しいですか?
正しい無線LANのセキュリティ情報（認証方式/暗号化方式/ネットワークキー）を確認して、設定し直してください。
※ 無線LANアクセスポイントに複数のWEPキー（WEPキー 1、WEPキー 2、WEPキー 3、WEPキー 4など）を設定している場合、本製品では1番目のWEPキーのみ使用できます。</td></tr>
</table>

エラーコード	意味	解決方法
TS-07	WPS/AOSS™を実行している無線LANアクセスポイントが見つかりません。	WPSまたはAOSS™対応の無線LANアクセスポイントを使用している場合、本体と無線LANアクセスポイントの両方の操作が必要です。無線LANアクセスポイントの操作方法は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧いただくか、お使いの無線LANアクセスポイントのメーカー、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● **お使いの無線LANアクセスポイントは、WPS機能またはAOSS™機能対応機器ですか？** WPS/AOSS™機能対応機器は、無線LANアクセスポイントに右記のようなロゴマークが貼り付けられていたり、パッケージや取扱説明書に記載があります。 お使いの無線LANアクセスポイントが、WPSまたはAOSS™機能対応機器であることを確認してください。 AOSS™
TS-08	WPS/AOSS™を実行している無線LANアクセスポイントが複数見つかりました。	近くで別のWPS/AOSS™の設定が行われています。干渉を避けるため、数分後にやり直してください。 ● **近くで別の無線機器を使用していませんか？** 近隣などですでに別の無線機器が導入されているときは、電波干渉を避けるために無線LANアクセスポイントのチャンネル番号をできるだけ離して（推奨：チャンネル番号5以上）設定してください。

無線設定時の文字入力について

無線LANの設定では、操作パネルのダイヤルボタンから文字入力が必要な場合があります。
操作パネルのダイヤルボタンを押すごとに、液晶ディスプレイに表示される文字が切り替わります。
（例：a→b→c→A→B→C→2→a・・・の順に表示される文字が切り替わります。）

ボタン	入力できる文字
1	@. /1
2 ABC	a b c A B C 2
3 DEF	d e f D E F 3
4 GHI	g h i G H I 4
5 JKL	j k l J K L 5
6 MNO	m n o M N O 6
7 PQRS	p q r s P Q R S 7
8 TUV	t u v T U V 8
9 WXYZ	w x y z W X Y Z 9
0	0（液晶ディスプレイには「*」と表示されます。）
#	. @ - _ '（スペース）: ; < = > ? [ ] ^ ! " # $ % & ( ) * + , / € ¥ ˜ ` | { }

● **スペースを入力する**
スペースを入力する場合は、<#>ボタンを押し、<◀>、または<▶>を押して「（スペース）」にカーソルを移動させ、<OK>を押してください。

● **入力した文字を変更する**
間違って入力した文字を変更したい場合は、<クリア>を押して文字を削除し、正しい文字を入力してください。

● **同じボタンの文字を続けて入力する**
同じボタンの文字を続けて入力する場合は、文字を入力後、<▶>を押し、再度同じボタンの文字を入力してください。

● **記号を入力する**
<#>ボタンを押し、<◀>、または<▶>を押して入力したい記号にカーソルを移動させ、<OK>を押してください。

セキュリティソフトウェアをお使いの場合の注意事項

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを一時停止にしてください。

注意

ドライバーのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

補足

ウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows®の場合）

無線LANで接続する場合のインストール方法を説明します。インストールをする前に、「STEP1　接続・設置する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

注意

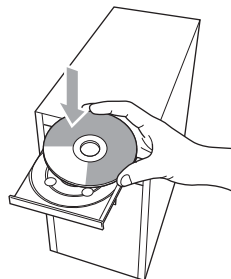
画面は、使用しているOSにより異なります。

1 コンピューターの電源を入れる

アドミニストレーター（Administrator）権限でログオンします。

2 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

「トップメニュー」画面が表示されます。

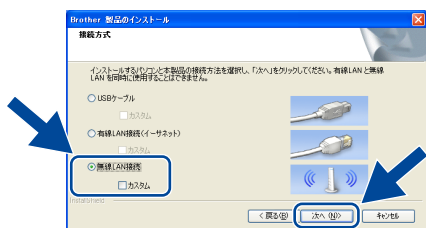
補足

画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

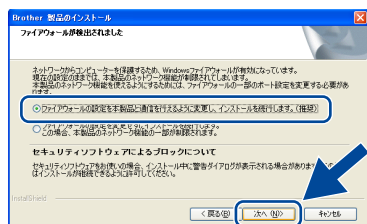
3 「トップメニュー」画面で［インストール］をクリックし、「インストール」画面で［インストール］をクリックする

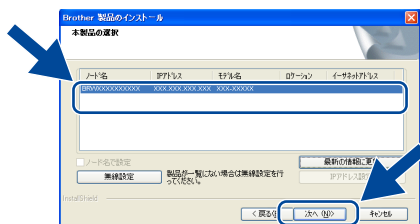
使用許諾契約などの画面が表示されたときは、［はい］を押して進んでください。

補足

- ドライバーとソフトウェアのインストールが始まらない場合は、手順2からインストールをやり直してください。
- Windows Vista®/Windows® 7で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］、または［はい］を選択してください。

4 ［無線LAN接続］を選択し、［次へ］をクリックする

補足

「ファイアウォール検出」画面が表示された場合は、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。
• Windows® 2000は除く

Windows® ファイアウォールを使用していない場合は、以下のネットワークポートを追加してください。追加方法については、お使いのファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。
• ネットワークスキャン：UDPポート 54925
• ネットワークPCファクス受信：UDPポート 54926
これらを追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDPポート 137

5 画面に従って操作すると、下記の画面が表示されるので本製品を選び［次へ］をクリックする

補足

● 暗号化方式がWEPの場合で、本製品が見つからないときは、WEPキーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字／小文字を正確に入力してください。

● ネットワーク上に本製品が見つからない場合は、表示される画面の指示に従って設定を確認してください。それでも検索されない場合は、［無線設定］をクリックして表示される画面の指示に従って無線LAN接続を設定し直してください。

6 画面に従いセットアップを行う

補足

● Windows Vista®/Windows® 7で「Windows セキュリティ」画面が表示されたときは、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

● ソフトウェアのインストール中にエラーメッセージが表示された場合は、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［FAX－7860DW LAN］を選択し、［インストール診断ツール］をクリックします。
後の操作は画面の指示に従ってください。

OK! **インストールが完了しました。**

補足

● 特定の IP アドレスを使用する場合は、操作パネルを使用して本製品のIP取得方法を「Static」に設定してください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「IP 取得方法」を参照してください。

● インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。

● **「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内**
XML Paper Specificationプリンタードライバーは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適した Windows Vista®、Windows® 7 専用のプリンタードライバーです。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintoshの場合）

無線LANで接続する場合のインストール方法を説明します。インストールをする前に、「STEP1　接続・設置する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

注意

Mac OS X 10.4.0 ～ 10.4.10 をお使いの方は、Mac OS X 10.4.11～10.6.xにアップグレードしてください。

1 Macintoshの電源を入れる

2 付属のドライバー＆ ソフトウェア CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

3 [Start Here OSX] をダブルクリックする

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

4 下記の画面が表示されたら［無線LAN接続］を選択し、[次へ]をクリックする

補足

- 暗号化方式がWEPの場合で、本製品が見つからないときは、WEPキーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字／小文字を正確に入力してください。
- ネットワーク上に本製品が見つからない場合は、表示される画面の指示に従って設定を確認してください。それでも検索されない場合は、［セットアップ］をクリックして表示される画面の指示に従って無線LAN接続を設定し直してください。

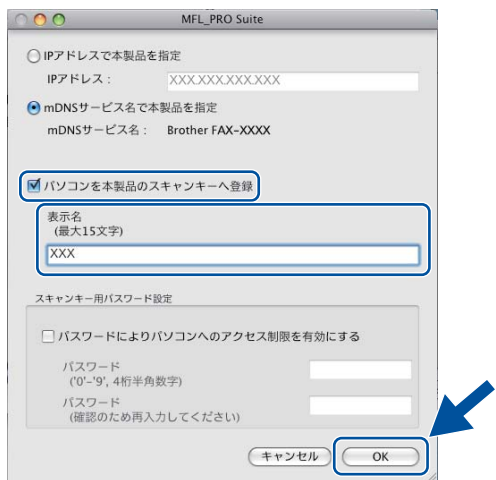
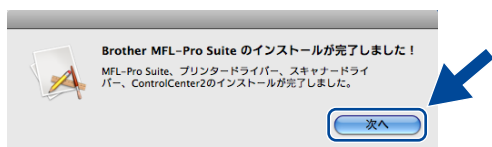
5 画面に従って操作すると、下記の画面が表示されるので本製品を選び［OK］をクリックする

補足

●同じモデル名が 2 つ以上ある場合は、モデル名の右に表示されるMACアドレス（イーサネットアドレス）をもとに本製品を選択します。

●IP アドレス、MAC アドレスを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷してください。
詳しくは、⇒46ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」を参照してください。

●以下の画面が表示されたときは［OK］をクリックして表示名を入力してください。

●「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。
表示名は半角15文字以内で入力し、［OK］をクリックします。
<スキャン>を押したときと、スキャナー機能のオプションを選択したときに入力した内容が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」を参照してください。

6 確認画面で［次へ］をクリックし、画面に従い操作する

OK! **インストールが完了しました。**
続いて Presto！ PageManager をインストールします。手順 7 に進んでください。

7 「サービスとサポート」画面で［Presto！PageManager］をクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Presto！ PageManagerがインストールされます。
Presto！ PageManagerをインストールしない場合は、［閉じる］をクリックして終了します。

補足

Presto！ PageManager をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作をすることができます。

OK! **インストールが完了しました。**

補足

特定のIPアドレスを使用する場合は、操作パネルを使用して本製品のIP取得方法を「Static」に設定してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「IP取得方法」を参照してください。

ネットワーク設定の確認と初期化

ウェブブラウザーで管理する

本製品をネットワーク接続で使用している場合、本製品に内蔵されている HTTP サーバーを使用して、ウェブブラウザーから設定を確認、変更することができます。

補足

- お買い上げ時のユーザー名は“admin”、パスワードは“access”に設定されています。
- ウェブブラウザーで管理を行うためには、本製品の IP アドレスを確認する必要があります。IPアドレスの確認方法は、「ネットワーク設定リスト」を印刷する、または⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
「ネットワーク設定リスト」については、⇒46ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」を参照してください。
- 対応しているウェブブラウザーは次のとおりです。
  - Windows®の場合
  Microsoft® Internet Explorer® 6.0以降（JavaScript有効・Cookie有効）
  Mozilla Firefox3.0以降（JavaScript有効・Cookie有効）
  - Macintoshの場合
  Safari3.0以降

1 ウェブブラウザーを起動する

2 アドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する

- ［XXXXX］は本製品のIPアドレスです。
- IP アドレスは、「ネットワーク設定リスト」で確認できます。

補足

ウェブブラウザーを使った管理方法については、⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（ネットワーク設定リセット）

現在のネットワーク設定をすべて初期化できます。

補足

この設定では、IPアドレスやメールアドレスなど、すでに設定されているネットワークのすべての情報を初期化します。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

1 <メニュー >→<6>→<0>を押す

2 <1>を押す

<2>を押すと、設定メニューに戻ります。

3 <1>を押す

- 数秒後に本製品が再起動します。
- <2>を押すと、設定メニューに戻ります。

ネットワーク設定リストを印刷する

ネットワーク設定を確認するためのネットワーク設定リストを印刷します。

1 <メニュー >→<5>→<7>を押す

2 <スタート>を押す

ネットワーク設定リストが印刷されます。

補足

ネットワーク設定リストのIPアドレスが「0.0.0.0」と印刷された場合は、本製品がまだ起動中です。1 分後に再度、印刷してみてください。

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使用するための準備が終了しました。本製品をお使いいただくときは、目的に合わせて必要なユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。⇒2ページ「ユーザーズガイドの構成」を参照してください。

ユーザーズガイドCD-ROM内のユーザーズガイドを閲覧するには

付属のユーザーズガイドCD-ROM内に収録されている各ユーザーズガイド（PDF形式）を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

1 付属のユーザーズガイドCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする

「ブラザーユーザーズガイド CD-ROM」画面が表示されます。

2 お使いの製品名にカーソルを合わせる

3 [ユーザーズガイドを PC にコピーする] をクリックする、または [ユーザーズガイドを表示する] にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

- **[ユーザーズガイドをPCにコピーする] をクリックする場合**
  画面の指示に従って、各ユーザーズガイドのコピーを進めてください。警告画面が表示された場合は、[実行] をクリックしてください。すべてのユーザーズガイドがコンピューターにコピーされます。コピー完了後にデスクトップ上のアイコン [ブラザーユーザーズガイドへ] をダブルクリックすると、各ユーザーズガイドをご覧になれます。
- **[ユーザーズガイドを表示する] をクリックする場合**
  見たいユーザーズガイドが表示されます。

Macintoshの場合

1 付属のユーザーズガイドCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする

2 ユーザーズガイド CD-ROM のアイコンをダブルクリックする

3 [index.html] をダブルクリックする

「ブラザーユーザーズガイド CD-ROM」画面が表示されます。

4 お使いの製品名にカーソルを合わせる

5 [ユーザーズガイドを表示する] にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

見たいユーザーズガイドが表示されます。

補足

ユーザーズガイド（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®またはAdobe® Acrobat®が必要です。
コンピューターにAdobe® Reader®またはAdobe® Acrobat®がインストールされていない場合は、インストールする必要があります。アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.com/jp/）からAdobe® Reader®をダウンロードしてください。

商標について

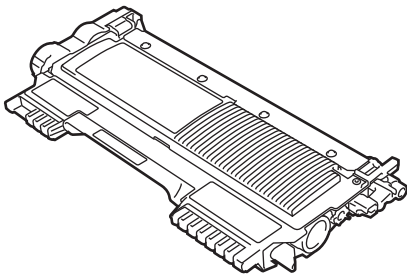
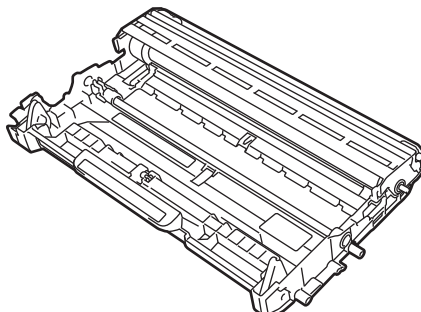
本文中では、OS名称を略記しています。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemです。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Server® 2008 R2の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
Windows® 7の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating systemです。

トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因になる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。

消耗品について

次のメッセージが液晶ディスプレイに表示されたら、交換用の消耗品の準備をしてください。

・まもなくトナー交換

消耗品の交換時期になると、次のメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。

・トナー交換　・ドラム交換

消耗品の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）を参照してください。
（http://solutions.brother.co.jp/）
または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

トナーカートリッジ		ドラムユニット	
型番	TN-27J	型番	DR-22J
印刷可能枚数：約2,600枚※1、2		印刷可能枚数：約12,000枚※2、3	

本製品に付属のトナーカートリッジは約700枚※1印刷ができます。

※1 印刷可能枚数はJIS X 6931（ISO/IEC 19752）*規格に基づく公表値を満たしています。
　* JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とは、モノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。

※2 使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数、印刷内容などによって異なります。

※3 A4を1回に1ページ印刷した場合

補足

- 消耗品の寿命は、実際の印刷方法や内容、使用環境により異なります。
- トナーの寿命は、使用可能なトナーがなくなった場合やトナーが劣化した場合で検知され、どちらかに該当するとトナーの寿命となります。

消耗品は、お買い上げの販売店、またはダイレクトクラブへご注文ください。
　0120-118-825
　（土、日、祝日、長期休暇を除く　9:00～12:00　13:00～17:00）

バーコード読み取り機能があるカメラ付き携帯電話をお持ちの方は右記の二次元バーコードの読み取りでダイレクトクラブの携帯サイトへアクセスすることができます。

携帯電話で下記のURLを入力してもアクセスできます。
http://direct.brother.co.jp/